

LIVE JAXA会見 小型ロケット「イプシロンS」試験で爆発の原因は？



【詳細】ロシア ウクライナに軍事侵攻（2月24日の動き）

2025年2月24日 23時57分 ウクライナ情勢

ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が続いています。

ウクライナの各地でロシア軍とウクライナ軍が戦闘を続けていて、大勢の市民が国外へ避難しています。戦闘の状況や関係各国の外交など、ウクライナ情勢をめぐる24日（日本時間）の動きを随時更新でお伝えします。

（日本とウクライナとは7時間、ロシアのモスクワとは6時間の時差があります）

目次

- ゼレンスキー大統領「平和が実現するなら大統領を辞任の用意」
ウクライナ軍前線の兵士“北朝鮮の部隊が再び前線に投入”

目次を開く



NHKスペシャル トランプとプーチン“ディール”の深層

NHKプラス配信期限: 3/1(土) 午後10:49 まで

ニュースを検索 検索

天気予報・防災情報



詳細を見る

最新・注目の動画



動画一覧を見る

ソーシャルランキング

この2時間のSNS投稿が多い記事です



- 1 プーチン大統領 併合したウクライナ4州で米と資源開発の用意
2 国交相 成田空港視察“外国人旅行者受け入れ拡大へ機能強化”
3 ウクライナ侵攻 ロシア軍撤退求める国連決議 アメリカは反対
4 いわさきちひろさんの原画30点余り見つかる“奇跡に近い”
5 石破首相 ウクライナ侵攻“誤った教訓残さない形で終結を”

ソーシャルランキング一覧を見る

アクセスランキング



国際報道2025 視聴者の声とともに考える「ウクライナ侵攻3年」

NHKプラス配信期限: 3/1(土) 午前5:00 まで

▶ [【詳細】ロシア ウクライナに軍事侵攻（2月23日の動き）](#)

▶ [ウクライナ情勢 戦況の解説記事はこちら](#)

戦況地図

最新の戦況はこちら。茶色のボタンを右から左に動かすと日ごとの地図が見られます。



2022年2月24日

最新

ロシア軍 23日も無人機で攻撃 “これまでで最多”

ロシアによる軍事侵攻が始まって3年となるのを前にした22日から23日にかけても、ウクライナではロシア軍による攻撃がありました。

ウクライナ空軍は、22日夜から23日朝までの間に行われたロシア軍の攻撃で無人機267機が使われたと発表し、南部オデーサ州の当局は無人機による攻撃で3人がけがをしたと発表しました。

ゼレンスキー大統領は23日、SNSへの投稿で「戦争開始から3年となるのを前に、ロシア軍はこれまでで最も多くの無人機による攻撃を行った」と非難しました。

この24時間に多く読まれている記事です



- 1 [大阪マラソン 近藤亮太 初マラソンの日本最高記録更新](#)
- 2 [ウクライナ侵攻 ロシア軍撤退求める国連決議 アメリカは反対](#)
- 3 [【詳しく】ウクライナ侵攻3年 キーウに首脳集結 結束を確認へ](#)
- 4 [25日から一転 気温上昇の見通し 雪崩や落雪に十分注意を](#)
- 5 [プーチン大統領の思考を知る男が語る“トランプ交渉の危うさ”](#)

▶ [アクセスランキング一覧を見る](#)

新着ニュース

[【ライブ】JAXA会見「イプシロンS」試験で爆発の原因は?](#) 13時55分

[衆院予算委 中央公聴会 財政や賃上げなど専門家が意見](#) 13時45分

[徳島 松茂町 小学生2人がはねられ軽傷車を運転の会社員逮捕](#) 13時31分

[「年収103万円の壁」国民 公明案は不公平 年収区分撤廃求める](#) 13時17分

▶ [新着ニュース一覧を見る](#)

地域発ニュース

首都圏のニュース

首都圏

[横浜 男性死亡 男性見つかる2日前に暴行か 50代2人逮捕](#) 11時06分

[東京 世田谷区 集合住宅など計7棟火事 住民か1人死亡](#) 12時13分

[各地で気温上昇 週末にかけ春の暖かさか 雪崩など十分注意](#) 12時13分

▶ [地域ニュース一覧を見る](#)

プーチン大統領 軍事侵攻は「目標を達成しつつある」



ロシアのプーチン大統領は23日、モスクワのクレムリンで開いた「祖国防衛者の日」の式典で、ウクライナへの軍事侵攻に参加する兵士たちを前に演説しました。この中でプーチン大統領は「皆さんの奮闘のおかげで目標を達成しつつある。あなた方は国の誇りだ」と述べ、軍事侵攻は順調に進んでいるという認識を示し、参加する兵士たちをたたえました。

また、プーチン大統領は23日、動画の声明も出し「世界が急速に変化する中であっても、軍の強化と発展のための戦略的方針は不変である。戦闘能力の向上を続ける」と述べ、ロシア軍の能力向上に力を入れるとともに、ウクライナへの侵攻に参加している部隊の要望に最優先で対応すると強調しました。

ゼレンスキー大統領 オンラインでG7首脳会合に出席へ

ウクライナのゼレンスキー大統領は、ロシアによる侵攻が始まって3年となるのにあわせて日本時間の24日夜、オンラインで開かれるG7=主要7か国の首脳会合に出席する見通しで、関係がギクシャクしているアメリカのトランプ大統領と同席する可能性が出てきました。

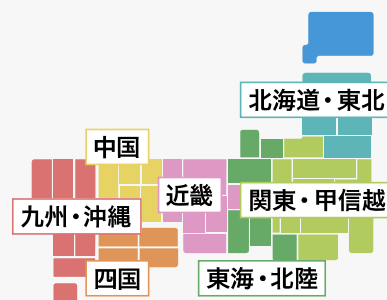
ゼレンスキー大統領は23日、キーウで行われた記者会見で、NHKの質問に対し「日本は、今後さまざまな話し合いの中でさらに重要な役割を果たすことになるだろう。G7の一員でもあり、あす日本の新たな総理大臣もオンラインの会合に参加するので、彼と話すことを楽しみにしている」と述べ、日本時間の24日夜、オンラインで開かれるG7の首脳会合に出席する見通しであることを明らかにしました。

この会合は、ロシアの侵攻が始まって3年となるのに合わせて開かれるもので、石破総理大臣をはじめ、アメリカのトランプ大統領も出席する見通しです。

トランプ大統領は、ゼレンスキー大統領を「選挙なき独裁者」と批判したのに対して、ゼレンスキー氏もトランプ氏は、ロシアの影響を強く受けていると警戒感を示すなど、ギクシャクした関係が続いています。

今回オンライン形式とはいえ、両者がG7の首脳会合に同席する可能性があり、他の首脳も含め、どのようなやりとりがおこなわれるのか、注目されます。

地図から選ぶ



関連ニュース 能登半島地震 最新情報

関連ニュース フェイク対策

特設サイト 感染症データと医療・健康情報

特設サイト ウクライナ情勢

特設サイト スペシャルコンテンツ一覧



ゼレンスキー大統領「平和が実現するなら大統領を辞任の用意」

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から3年になるのを前にウクライナのゼレンスキー大統領は23日、首都キーウで記者会見を行い「ウクライナの平和が実現するなら大統領を辞任する用意がある」と述べ、みずからの進退をかけてウクライナに平和をもたらす覚悟があると強調しました。

ゼレンスキー大統領に対してはアメリカのトランプ大統領が「選挙なき独裁者」と呼ぶなど大統領選挙を実施すべきだという考えを示唆していました。

“ロシア外務省次官 紛争の長期的な解決策望む” 国営通信



ロシアの国営通信は24日、ロシア外務省のリュブコフ次官がインタビューでアメリカが早期の停戦を目指しているのに対し、ロシアは紛争の長期的な解決策を望んでいると述べたと伝えました。

この中でリュブコフ次官は「われわれは、アメリカ側が早期の停戦を望んでいることを十分に理解している」としたうえで、「長期的な解決策のないまま停戦すれば、戦闘がすぐに再開し、アメリカとロシアの関係などにさらに深刻な結果をもたらしかねない」と述べました。

そして長期的な解決策としてNATO＝北大西洋条約機構を拡大させないことや、ウクライナに住むロシア語を話す住民の権利の確保など、紛争の「根本原因」に対処しなければならぬと強調しました。

ロシア側のこうした立場について、リュブコフ次官は、2月行われたアメリカとロシアの外相らによる会合で「ロシア側の代表者が極めて明確にかつ詳細に述べた」としています。

ウクライナ軍前線の兵士 “北朝鮮の部隊が再び前線に投入”



ウクライナ軍の第95独立空挺強襲旅団の兵士で去年夏からロシア西部クルスク州で戦闘任務についているボロディミル・ネビル氏が、2月17日、前線からNHKのオンラインインタビューに応じました。

この中でクルスク州で一度撤退したとみられていた北朝鮮の部隊について、「1週間以上前から新たな兵士とともに戻ってきた」と述べ、再び前線に投入されたという見方を示しました。

そして「北朝鮮の部隊の戦術はロシアの戦術にどんどん似てきている。これまでより少人数のグループで、より分散して行動し始めている。ただ最も興味深いのは、ロシア軍が迫撃砲や重装備で北朝鮮の部隊を支援していないことだ」と述べ、ロシア軍と北朝鮮軍は連携ができていないとしています。

一方で北朝鮮の兵士はロシア製の兵器を利用するなど戦地での経験を重ねているとして「地上の兵士も司令部の将校もこの経験をほかの兵士や北朝鮮軍のほかの組織に広めていくだろう」と述べ、クルスク州での戦闘経験を持ち帰ることが北朝鮮軍のねらいだという見方を示しました。

北朝鮮軍の部隊をめぐるのは、ゼレンスキー大統領が23日の記者会見でこれまでに死傷者が少なくとも4000人にのぼり、前線に1500人から2000人の兵士が補充されるという見方を示しています。

米財務長官 レアアースなどの権益協議 早期の合意実現に自信

アメリカのベッセント財務長官は23日、FOXニュースのインタビューの中で、ウクライナへの支援の見返りとして求めているウクライナ国内のレアアースなどの鉱物資源の権益をめぐる協議について今週合意を発表できるか問われ「かなり期待している」と述べ、早期の合意実現に自信を示しました。

ベッセント長官は今月12日にトランプ政権の閣僚として初めてウクライナを訪れ、ゼレンスキー大統領と鉱物資源の権益をめぐり、協議しましたが、合意には至っていません。

また、トランプ政権のウィトコフ中東担当特使も23日、CNNテレビのインタビューに対

し「ゼレンスキー大統領は、われわれがこれまで多くのことを成し遂げてきたことや、この合意は結ばれるべきものであることを理解している」と指摘しました。

そのうえで「今週中に合意するだろう」と期待を示しました。

国連事務総長 “ウクライナの領土保全を維持した和平必要”

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から24日で3年となるのに合わせて、国連のグテーレス事務総長は「ウクライナの主権と独立、そして国際的に認められた国境での領土の保全を完全に維持し、公正で持続可能かつ包括的な和平が緊急に必要な」とする声明を発表しました。

また「ウクライナでの戦争はヨーロッパの平和と安全だけでなく国連の基盤と中核的な原則そのものに対する重大な脅威だ」と位置づけ、公正で包括的な和平の実現に向けたあらゆる努力を国連は支援する用意があるとしています。

24日のキーウ 死亡兵士たちの写真を訪れた市民たちは



キーウ市内の中心部にある修道院では、建物の壁に戦闘で亡くなった兵士たちの写真が貼られ、この3年で壁を埋め尽くすまでになりました。

24日は朝から市民らが訪れ、写真に花を手向けたり、涙を流して見つめたりする人の姿が見られました。

ドネツク州で戦闘に加わっていた24歳の孫を亡くしたという69歳の女性は「ことばにすることができないほどの痛みや悲しみを抱えています。いちばんの願いは、みんなが生きていること、健康であること、平和であることです」と目に涙を浮かべながら話していました。

また69歳の男性は「これほど多くの罪のない人々が亡くなっていることは許されません。恐怖です。アメリカの大統領が何かしらの形で状況を変えてくれることを願っています」と話していました。

以前、領土防衛隊の隊員として戦闘に参加した47歳の男性は「亡くなった兵士の方々の無念を思い、悲しみに暮れています。安全が保証され、平和が訪れることを願いたい

す」と話していました。

また63歳の女性は「軍事侵攻後、私たちの生活は変わりました。平和も自信もなく、子どもたちの未来もない。アメリカに期待できるかはわかりませんが、とにかく平和が訪れてほしいです」と話していました。

ゼレンスキー大統領 SNSに投稿「ウクライナを誇りに思う」

ゼレンスキー大統領は24日、SNSにメッセージを投稿し「抵抗の3年。感謝の3年。ウクライナ人の究極の英雄行為の3年だった。ウクライナを誇りに思う。ウクライナを守り、支えているすべての人々、そしてウクライナのために働くすべての人々に感謝する。私たちの国家と国民のために命を捧げたすべての人たちの記憶が永遠に残るように」としています。

キーウにヨーロッパを中心とした各国の首脳が集結



ゼレンスキー大統領は、24日は10か国以上の首脳がウクライナ入りするとしていて、キーウにはヨーロッパやカナダといった各国の首脳が集結しました。

このうちEU=ヨーロッパ連合のコスタ大統領はSNSで「3年前のまさにこの瞬間、ロシアの侵攻によってウクライナの平和は壊された。私たちは、その最初の日からあなたたちとともにある」と述べ、ウクライナの支援に力を尽くすと強調しました。

最大の支援国アメリカのトランプ大統領は侵攻の早期終結を掲げていますがロシア寄りの姿勢を見せ、ゼレンスキー大統領への批判を繰り返し、双方の関係がぎくしゃくしています。

ゼレンスキー大統領は、現地を訪れたヨーロッパの首脳などと会議を開き、ウクライナが求める公正な平和の実現に向けて各国との結束を確認することにしています。

プーチン大統領と習近平国家主席が電話会談

ロシアのプーチン大統領は24日、中国の習近平国家主席と電話で会談を行いました。

ロシア大統領府によりますと、ウクライナ情勢をめぐって行われた最近のロシアとアメリ

カとの接触について報告したとしていて、今月サウジアラビアで行われたロシアとアメリカの外相らによる会合の内容について説明したものと見られます。

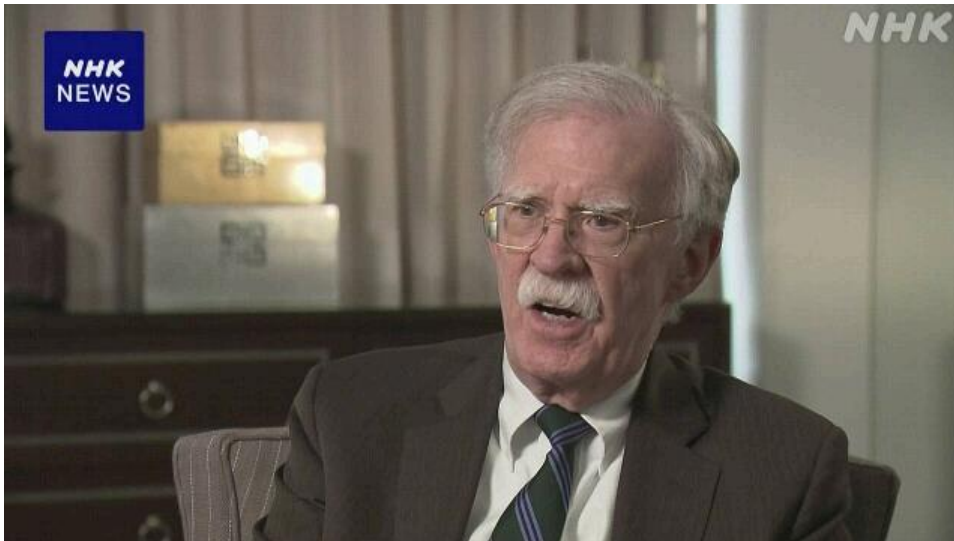
一方、中国中央テレビによりますと、この中で習主席は「両国の発展戦略と外交政策は長期的なものだ。国際情勢がどう変わろうとそれぞれの発展と振興を後押しし、国際情勢に安定をもたらすだろう」と述べたということです。

中国“一貫して和平交渉の橋渡しに尽力”

中国はアメリカへの対抗を念頭にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってからも原油の輸入などを通してロシアとの関係を深めてきましたが、トランプ大統領がロシアと歩調を合わせるような動きを見せる中、米ロ間の交渉の行方を慎重に見極めているとみられます。

中国外務省の林劍報道官は24日の記者会見で「中国は一貫して関係各国と意思疎通を保ち、和平交渉の橋渡しに尽力してきた。引き続き国際社会とともに政治的解決の推進のために建設的な役割を果たしていく」と述べました。

トランプ政権 元補佐官 “交渉はロシア有利に働く可能性”



1期目のトランプ政権で大統領補佐官を務めたジョン・ボルトン氏がNHKのインタビューに応じ、「トランプ氏を本当に突き動かしているのはこの戦争を終わらせたいという思いだ。彼は自分が大統領だったらあの戦争は起こらなかったと繰り返し言っている」と述べました。

また「トランプ氏は、すべては、プーチン氏との関係、そしてゼレンスキー氏との関係しだいで考えている」として、外交において首脳どうしの信頼関係に重きを置いてきたと指摘したうえで「自分はディールの技術を知り尽くし土壇場でまとめられると考えている」と述べました。

そしてロシアのプーチン大統領について「トランプ氏にこびを売り、1期目の時から築いてきた関係をいかそうと下準備をしている」と分析したうえで「ロシアよりもウクライナの方に不利になる可能性の方が高い。プーチン氏はトランプ氏に働きかけて、ゼレンスキー氏のせいで交渉が行き詰まっていると見せかけることができる。トランプ氏はプーチン氏と友好関係があると思っているが、プーチン氏はトランプ氏を操ることができると思っ

ている」と述べて戦闘終結に向けた交渉はロシアに有利に働く可能性の方が高いという見方を示しました。

またポルトン氏は今後、起こりうるシナリオとして「まず停戦を実現し、その後、交渉を行うというものだろう。ウクライナにとっては悪いものだ。なぜなら停戦ラインがウクライナとロシアの新たな国境となる可能性があるからだ」と述べ、ロシアが占領するウクライナ東部や南部の奪還は困難になるという考えを示しました。

フランス マルセイユ ロシア総領事館に爆発物投げ込まれる



フランスやロシアのメディアによりますと、現地時間の24日朝、フランス南部、マルセイユにあるロシアの総領事館の敷地内に爆発物が投げ込まれました。

ロシア国営のタス通信は、総領事館の情報として、爆発物はあわせて3つでこのうち2つが爆発したものの、けが人はおらず、建物にも被害はなかったと伝えています。

また、フランスのメディアが捜査関係者の情報として伝えたところによりますと、投げ込まれたのは液体が入ったプラスチックボトルだということです。

ロシア外務省のザハロワ報道官はタス通信に対し「フランス政府に対して徹底的な調査を求める」と述べたということです。

24日はロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まって3年となりますが、今回の事件との関連はわかっていません。



[【詳しく】ウクライナ侵攻3年 キーウに首脳集結 結束を確認へ](#)



[ウクライナ情勢 ロシアによる軍事侵攻 最新情報・解説 - NHK 特設サイト](#)